

中学2年アカデミックプログラム

ビックデータの解析により社会問題を解決する

11月16日（火）滋賀大学データサイエンス教育研究センターの田島友祐先生と西尾治幾先生に來校していただき、アカデミックな学習ができました。



データサイエンスについて

データを用いて、新たな科学的、および社会に有益な知見を引き出そうとする学問で、コンピュータで、データを多く集めることが可能になった。ビックデータの解析により、社会問題を解決することができるようになった。



研究について

田島先生

体の動きの頻度や心拍ならびに呼吸の乱れから覚醒やレム睡眠を推定する研究。

西尾先生

植物を用いた自然環境下での季節的な遺伝子制御の研究



パソコンを使った、 データサイエンス実習

気温と購買意欲の関係性を表計算ソフトを使い、グラフ化して解析しました。